

平成13年度第2回 全学FD アンケートのまとめ

回収：48名分（回収率：98.0%）
（参加者49名：総長を除く）

1. 分科会においては意見発表，討論，討論のまとめを参加者全員で行いましたが，参加された分科会の内容に満足しましたか。

- | | |
|-------------------------------------|------------|
| <input type="checkbox"/> たいへん満足した。 | 17名（35.4%） |
| <input type="checkbox"/> ある程度満足できた。 | 28名（58.3%） |
| <input type="checkbox"/> どちらとも言えない。 | 1名（2.1%） |
| <input type="checkbox"/> 満足できなかった。 | 1名（2.1%） |
| <input type="checkbox"/> 不満であった。 | 1名（2.1%） |

2. 分科会の討論には積極的に参加出来ましたか？

- | | |
|--|------------|
| <input type="checkbox"/> 積極的に参加できた。 | 46名（95.8%） |
| <input type="checkbox"/> どちらとも言えない。 | 2名（4.2%） |
| <input type="checkbox"/> 積極的に参加したとは思わない。 | 0名（0.0%） |

3. 分科会での意見発表の内容を豊かにし，分科会のまとめを円滑にできるようにするために，事前に作文を提出していただきましたが，そのことの是非についてどのように考えますか？

- | | |
|--|------------|
| <input type="checkbox"/> よかったと思う。 | 47名（97.9%） |
| <input type="checkbox"/> どちらとも言えない。 | 0名（0.0%） |
| <input type="checkbox"/> 意味があったとは思えない。 | 1名（2.1%） |

4. 分科会での議論や分科会のまとめの発表が，夜の自由討論のきっかけになりましたか。

- | | |
|--|------------|
| <input type="checkbox"/> きっかけになった。 | 17名（35.4%） |
| <input type="checkbox"/> どちらとも言えない。 | 22名（45.8%） |
| <input type="checkbox"/> きっかけになったとは思えない。 | 6名（12.5%） |
| 未回答（空白） | 3名（6.3%） |

5. 2日目の総括討論の内容に満足できましたか。

- | | |
|-------------------------------------|------------|
| <input type="checkbox"/> 満足できた。 | 23名（47.9%） |
| <input type="checkbox"/> どちらとも言えない。 | 17名（35.4%） |
| <input type="checkbox"/> 不満が残った。 | 5名（10.4%） |
| 未回答（空白） | 3名（6.3%） |

6. 今回のFDに参加したことにより，教育に対してさらに力を注ごうという気持ちになりましたか。

- | | |
|---|------------|
| <input type="checkbox"/> 効果的な教育のための努力の必要性をあらためて感じた。 | 37名（77.1%） |
| <input type="checkbox"/> どちらとも言えない。 | 5名（10.4%） |
| <input type="checkbox"/> これまでと特に変わったとは思えない。 | 4名（8.3%） |
| 未回答（空白） | 2名（4.2%） |

7. 今回のFDは各部局のFD推進の実施責任者を中心に参加していただきました。参加したことにより、部局等におけるFDの進め方について何かヒントとなるものをつかむことができましたか。

- | | |
|--|-------------|
| <input type="checkbox"/> ヒントをつかめた。 | 32名 (66.8%) |
| <input type="checkbox"/> どちらとも言えない。 | 11名 (22.9%) |
| <input type="checkbox"/> ヒントとなるものをつかめなかった。 | 2名 (4.2%) |
| 未回答 (空白) | 3名 (6.3%) |

8. 今回のFDの企画全体を通して評価してください。

- | | |
|-------------------------------------|-------------|
| <input type="checkbox"/> たいへん良かった。 | 11名 (22.9%) |
| <input type="checkbox"/> 良かった。 | 33名 (68.7%) |
| <input type="checkbox"/> どちらとも言えない。 | 3名 (6.3%) |
| <input type="checkbox"/> 良くなかった。 | 0名 (0.0%) |
| <input type="checkbox"/> とても良くなかった。 | 1名 (2.1%) |

9. 今回の全学FDについて改善してほしい点があれば、できるだけ箇条書きで記入してください。

テーマ数が多すぎ、個々のテーマについて議論する時間が不足したように思える。部局代表を集めて実施する場合は、テーマの絞り込みを行う必要がある。 / 分科会会場に黒板だけではなく、模造紙数枚とマジックインキ数本、模造紙を貼るための材料などを用意して欲しかった。 / 時期を選んで欲しい。年末年始は長い休暇があり、その間の「手当」をすべき時にこの手の集会参加は苦しい。 / ここは考え方の問題でもあるが、週日に優先度の高い本務を差し置いて、泊まり込みの集会を企画すると参加者が限られてしまう。週末を考えるべきではないか。(もちろん事情は承知しているが、筋論として申し上げている。) / ホテルに泊まり込みというのは、やはり貴重な時間が移動等で無駄になるので、出来れば学内で実施して欲しい。 / 4人一部屋は、教師の人格の尊重の理念に悖る。 / 全体会で特定人の発言が目立った。(発言回数制限が必要) / 各部局で”問題教官”を洗い出し、数時間、缶詰にしてFDを実施すべき。 / 参加者のFDに関する共通認識の底上げを図ることも必要。そのために前もって基礎的要点、問題点の提示がさらに必要では? / 全学的な方針や各部局共通に取り組む具体的な目標・課題について議論し、まとめる内容のものにしなければ、”全学”と称することの意義は、半減すると考えます。個人レベルの参加ではないことを明確にし、そのような運営になることを期待します。 / 全学教育との連携を密にして議論する必要がある。 / 分科会は少人数であるため、各人が積極的に発言できる雰囲気であったが、全体会合では、通常の講演形式と何ら変わらないため、机の配置案の工夫が必要。 / 懇親会の後に全体会合で報告というのは、絶対良くない。 / 分科会ではかなり積極的に議論がなされていても、全体会合の議論ではやはり、うわべだけの議論になってしまうので、何らかの策を講じて欲しい。 / 今回のFDとは無関係な議論は、絶対避けるべきだ(杉崎・吉崎氏の議論です)。ここは、教育の質を如何に向上させるかであり、はっきり言って、別の委員会で話すべき議論で、参加しているメンバー(私だけかもしれないが)は白ける。 / 分科会では少人数で行った訳だから、全体会議の質疑に入る前にも、分科会単位での質疑・応答形式にしたらどうか。 / 名札だけは、作って欲しかった。 / 事前に作文の提出を求めたのと同様、分科会の報告をすぐにプリントアウトして、夕食時に配布し、目を通してもらってから夜の自由討論に

臨んでもらうべき。 / 夜の自由討論は、上記のように目を通してもらっていただければ、結論だけの報告（各分科会5分程度）とし、自由討論を1時間くらい確保すべき。 / 分科会参加者にノートパソコンを持参してもらい、テキストファイルのFDで提出してもらわなければならないようにしてほしい。 / 各部局の教授会の予定日を調査し、なるべく重ならないようにしてほしい。 / 朝の討論は、朝の開始時刻30分程前までに質問書を全員提出させるべきである。 / やはり、どう考えても全体討論が最も面白い。これに十分、時間を取るべきであろう。 / パソコンの導入。 / 全体討議を2回に分けているのを報告と討議を続けてやってほしい。 / 開催日が木金だが、金曜日は授業日数が少なくなり、問題となっているはずである。その日に行くこと自体、主催者のFDに対する取り組みに疑問を感じた。 / 問題設定が非常に低レベルなテーマあり。主催者自体、もっと予め議論しておくべきか？（学生の人格尊重？） / 議論時間が少ない。もし、組織的な取り組みもまじめに議論するならば、かなりの時間が必要である。 / 議論の結果を是非、総長他執行部に提案し、教育の評価システム化を構築すべき。 / 今回の議論をもとに大学自体を前向きに改善して欲しい。 / 今回の参加者はその顔ぶれを拝見して、やはり各々の部局を代表して、最適者が参加しているように思われた。しかし、各部局のFD関連の委員会の委員が自動的に参加したり、教授の参加が求められた部局の助教授が参加したりという部局があったようである。 / 細かな事ですが、名札があればbetter。 / 何故、年末に実施するのか。年末だけは避けていただきたい。 / 分科会報告内容を是非、web上で公開する方向で進めて欲しい。 / アリバイとしてのFDではなく、実質的なFDとして欲しい。制度化が必要なものが多いと思います。 / 分科会へのワープロの持ち込みをパンフレットで提案して欲しい。 / 各分科会の作文を直前ではなく、もう少し前に渡して欲しい。 / 他の分科会で話題（または質問）に載せて欲しいことを作文提出の際に提出しても良いこととする。 / 改善点ではなく良かった点ですが、啓蒙的なFDではなく、FD企画担当者という関心が高いと想定される集団をターゲットにしたことは良かったと思います。 / 異専攻間の率直な討論を加納とする分科会形式も良かったと思います。 / パソコンの活用等、より効果的なまとめを可能にする工夫があれば、もっと良かったと思います。 / 各部局の責任者（代理）による各部局の取り組みについての発表。 / 討論の幅が広すぎて、効果が疑わしいので焦点を絞ったテーマにすべき。 / 主催者側の「企画」のまずさが目立つ。討論の核となるものの提供や討論の誘導などが不十分。学生教育（授業）が成功するか否かも企画次第であり、その手本となるようなFDの試みが必要だと考える。大教センター、しっかりして欲しい。 / 全体討議と自由討議の間に時間があるので、分科会の発表の後に個々の質疑・討論を行ったほうが良いと思う。 / 視点があまりに小きすぎる。根本問題から考えて行くべき。 / 各部局等が具体的に検討した問題をテーマに選択した方が良い。 / 大学の教育面の基本方針の策定に活用できるようなテーマを選ぶべき。 / 各分科会の発表の後で、そのテーマについての全体討論をした方が良いと思う。 / 分科会 → 食事 → 総合討論 → 自由討論の順を再考してはどうでしょうか。食事、懇親会の後では、総合討論が充実しない様に思います。 / IT技術をもっと導入すべき。 / 出席前は、出席を部局から押しつけられたような気がしたが、私自身として出席して何らかの得るものがあった。積極的に出席出来るように事前のPRがもう少し必要であると思う。出席者の人選についても、もう少し考慮の必要あり。 / 分科会のテーマをもう少し工夫して欲しい。（例えば、国際性豊かな学生を育てるには？） / 全体を通して、概ね良好であった。 / 今回の議論を是非、実際に生かして欲しい。（Actionを起こして欲しい。） / 作文については、字数、書式等、もう少し詳細な指示が欲しかった。 / 「作文」は、ある程度のフォーマットがあると良いのではないかと。さらに事前にメンバー同士で閲覧できれば良

い。（例えば、同じ「意欲」といっても、人により定義が異なると戸惑いもある。web上でなら簡便だと思う。） / 出席者に名札をつけた方が互いに分かり易い。

10. これからの全学FDについて、要望したいことがあれば、できるだけ箇条書きで記入してください。

FD研修に来られている先生は、基本的にこういうことに熱心な先生が多いように感じられるが、全員が何らかの形でFD研修を受けるような制度を作っていくべきではないか。 / 授業に使えるテクニックに関する研修会などもあったらいいのでは・・・と思う。 / 講義のテクニックの公開に関するFDの実施を行って欲しい。多くの教官はどのように講義を行ったら良いのか情報が不足していると思う。学生の授業評価が高得点を得た教官がどのような工夫をしているのかについて発表してもらいたい。 / 学生の授業評価や大学教育の論文をホームページ上に載せ、教官が情報を取れる様にして欲しい。自己点検、自己評価関係の資料についても極力公開して欲しい。 / 全学FDのレベルでは対応できない課題もある。そのような場合、議論は抽象的になってしまう。企画段階での一層のご苦勞をお願いしたい。（ただし、このような課題がない方がいいというのではない。性格をわきまえた議論を期待している。） / FDの議論結果のフィードバックの体制を明示化していただきたい。 / 大学の各種行事に伴う休業措置（体育祭、健康診断及び大学祭等）の配分を検討していただきたい。 / 国際的に大学教育データを公表し、九大職員の意識を高めていただきたい。（授業週数など、米欧だけではなく、アジア諸国との比較が重要） / 今回検討した項目は、各部局で事情がかなり異なることもあるので、もっと小さな範囲（文系、理工系、医歯薬系）ごとのFDも実施して欲しい。 / FDに参加しない教官のためのFDを行うべきである。 / 宿泊部屋が一室につき4人というのは、おそらく修学旅行生以下の扱いかと思えます。”予算の枠がある”ということが語られると思えます。そうでしょうが、食事の質を落としても部屋の広さを求めるべきであると思えます。重なり合うようにして寝るのは耐えられません。個人的に別の部屋を勝手ながら取り、これを克服しました。 / 今回は問題点の提起が主であった。今後は対応についての検討が必要と見られる。 / 今回はFD推進の実施責任者ということであるが、実際に参加が必要と思われる教官に対して、如何に参加させるか検討を要する。 / 全体会合の質疑というのは、全体説明の直後にする必要がある。 / 全体FDの参加というのは、教官の質の向上という意味合いがあるので、出来るだけ参加させる人の均等化を講じて欲しい。 / 各部局に派遣する人の選定理由を申告させ、適切な人材を送るよう徹底すべきである。 / 各部局の教授会の予定日を調査し、なるべく重ならないようにして欲しい。 / 折角、普段、交流の内先生方が一堂に会するのであるから、名札を付けるようにしたら良い。 / FDで話し合われたことを、関係会議（全学）で報告し、意見を施策に反映させるかどうか、必ず検討してもらおうということにすると、分科会でもより注意深い討論が行われると思う。 / 日程の決定、派遣人材の選定の部局への依頼は、2、3ヶ月前までにして欲しい。 / 教授法について研究している専門家の意見を聞きたい。 / 参加者の選抜方法：問題と見られる者を強制的に参加させ、意識改革を行わせないと進歩はなし。 / 開催時期：夏休みor春休み / もっとゆっくり議論する時間が必要。 / 大学執行部（総長、副学長クラス）も議論に参加してもらい、大学の取り組みを具体的に聞かせてもらいたかった。 / 他大学の状況を予め、調査しておけば良いのではないか？ / 他部局の先生方と日常業務を離れて、ゆっくりと「君」付けで話し合う機会は、これまで余りありませんでした。これを徹底させるには、やはり合宿・研修形式で泊まり込みのFDを福岡から離れた場所で行うべきと思えます。今回のFDで妙な(?)連帯感、結束感のようなものが、参加者

の間で生まれたのは確かであろうと思われます。 / 今回の全学FD研修会は、総じて総論的で尤もな結論も出ているが、もう少し、具体性を持った提案をする場である事が望ましい。 / 出来るだけ色々な教官に参加させ、問題意識を持ってもらいたい。 / 宿泊の必要があるとは思えない。 / こうした研修会は必要なことだと思うが、実践しないと意味がない。教官相互の授業参加による評価の機会を設ける必要があるように思える。 / 同じテーマの分科会が二つあっても面白いと思う。 / 「FDに参加する教官には、FDがいない」という意見を聞いたことがありますが、賛成できません。FDは、むしろ最先端を目指すべきだと思います。「問題教員」の問題は、FDよりも制度的・学内行政的に解決すべきと考えます。 / 各部局のベスト・プラクティスの紹介。 / 各部局の問題を第三者的立場から評価。 / 大学としてのミニマム・スタンダードの確立。 / 討論の幅が広すぎて、効果が疑わしいので焦点を絞ったテーマにすべきである、また、主催者側の「企画」のまずさが目立つ。討論の核となるものの提供や討論の誘導などが不十分。学生教育（授業）が成功するか否かも企画次第であり、その手本となるようなFDの試みが必要だと考えるので、「改善すべき点」を何とかした企画をお願いしたい。 / 分科会のテーマが多いので、2、3個に絞り、集中して討論したらどうか。 / 一つのテーマを複数のグループで検討し、発表したらどうか。 / 「全学」にふさわしいテーマの選択を考えてください。 / 大教センターは、FDをリードする役割（能力）に欠けているのではないか。 / これだけの深い議論をする機会は、余り無いと思われるので、その結論が全学の教育政策にフィードバックすることを考えていただきたいと思います。 / 各自がネームプレートを着用すれば、もっと各部局の方々と知り合いになれると思います。 / 教育業績の評価を行い、結果の低い教官を優先的にこのようなFDに参加させる様な仕組みがあればいい。 / これからも年1回程度、このような”泊まり込み”の会を継続して欲しい。 / まとめとして、改善を提言するところまでやって欲しい。 / FDの結果をフィードバックすることが重要。 / 今回のFDのまとめのうち、何がフィードバックされるか期待します。 / 教育面で重要な問題点を絞り、議論する方向に向かう方が良い。例えば、正規の学生から遅れている学生問題など。 / 事前の作文は、短い時間内で分科会のまとめを作成する上で有効と思う。今後もこの形式を採用していただきたい。 / ほぼ全分科会から抽出された共通テーマとして、①少人数講義・ゼミの拡充、②教育活動（人事 / 賞罰と関連させた）の評価（等）があった。ここに挙げた2点は、以前より、また今後も必ず出てくるものと思われる。改善の道筋、現状分析や展望を出来る範囲で具体的に示すことが出来なければ不毛であるし、無力感を抱いてしまう（かもしれない）。誰が、何処まで、どうやって実行に移すのだから？ / 同一テーマを複数のグループによる討論も考えられる野ではないか。 / 部局長を対象としたFDを定期的に（2年に1回くらい）行った方が良い。

その他

時間不足と発言者が片寄った点に不満が残った。 / ”夜の自由討論”という設問が意味不明。 / 分科会及び総括討論の時間が足りない。 / FD推進の実施責任者でない人選でした。 / 分科会では、学内（他部局）の様子が伺えていろいろ考えさせられた。 / 分科会討論で一括に4時間は話し合っ、ある程度のものをまとめるには、一寸時間が足りない。（各部局の事情が様々で互いに理解し合うのに時間がかかる。） / 夜の自由討論では、他部局のことをもっと聞きたいと思った。 / 総括討論は充実していたが、時間が短いと感じた。